

リフォームで住宅を 長寿命化させる

長寿命化リフォームとは

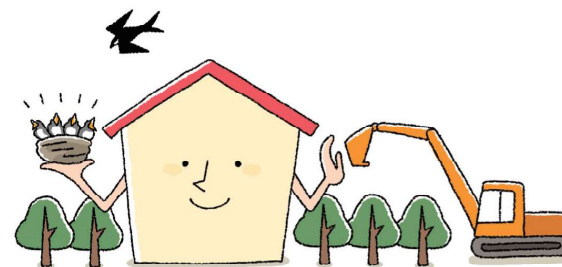
「住宅をきちんと手入れして、長く大切に使う」——このような住まいのあり方に転換していくには、これまでのリフォーム、つまり単に設備の交換や内装、外装の修繕などに留まらない取り組みが求められます。住宅の長寿命化が求められる時代においては、建物の耐久性を向上させるリフォームを行うことが求められます。リフォームに当たっては、併せて、耐震性能、省エネ性能、バリアフリー性能など住宅の基本性能を上げて、住宅に長

く住み続けることができるようなリフォームも求められます。

このようなリフォームこそが、これからの時代に求められる新しいリフォームであり、本書では長寿命化リフォームと呼ぶことにします。

リフォームで多くのことが解決可能

最近では、雑誌やテレビ番組などで、古びていたり、現代の暮らしに合わなくなった住宅が、リフォームによって見違えるような素晴らしい住宅に生まれ変わることを目にする機会が増えました。



これまでであれば、古くなったから、家族の暮らしに合わなくなったから、ということが、取り壊して建替える大きな理由でした。しかし、今ではリフォーム技術の発達や、専門家のリフォームへの意欲の高まり、そしてなにより住宅に住む人々の意識の変化にも支えられ、住宅の性能や家族の暮らしのニーズまで、リフォームで対応可能な範囲は飛躍的に高まってきました。

リフォームは環境に優しい

21世紀は環境の世紀と言われます。

いまある住宅を、リフォームで長期間にわたって住み続けることができれば、環境・エコロジー面でのメリットがあります。

第一に、住宅を壊すときに排出されるゴミは膨大です。現在では環境汚染の問題から、

住宅廃材はそのほとんどが産業廃棄物に指定されており、処理コストや環境への負荷も少なくありません。

二つ目として、今ある住宅を長く使うことは、木材やコンクリートなど資源の無駄遣いを少なくすることにつながります。このほか、新築工事に伴う資材の輸送や現場での建設に付随するエネルギー消費などを低く抑えることができます。

つまり、「住宅を壊さないこと」「あるものを長く使うこと」これらは、環境に配慮した住宅の使い方とすることができるのです。

